

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			その日の利用者数に応じて適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			1階、2階ともバリアフリーである。階段はあるがリハビリとして利用している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティングや月に一度の会議で振り返り・反省・予定等を話し次につなげている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		令和2年8月に開所し今のところまだ実施していないが、今後していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は今後やっていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			できるだけ機会があれば研修していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約後アセスメントをし、活動の様子を見てから計画書を作成し、保護者の同意のもと実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ひと月ごとにチームでプログラムを決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どものグループメンバーにより工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		集団で初めての夏休みとなる。それぞれの課題考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じて個別の課題とグループでの活動を計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日のメンバーにより、職員配置を決めて打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々ミーティングを実施している。時間が合わない職員とは個別に話したりノートで情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の担当職員を中心に日誌とケース記録をつけ、話し合いに活用し改善につなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングは個人により必要な時期に行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			連絡漏れのないよう共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		今はないが、いれば考えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			訪問して情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今後その場合は情報提供したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			連絡を密にしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今の所ないが機会を持ちたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加して情報を得ている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎日送迎の都度少しの時間で伝えている。また日々の連絡帳や必要な時は電話をして共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		伝えてやってもらこともあるが、それだけでは家庭ではなかなかうまくいかない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳や送迎の時に言われることに対して相談に乗り一緒に考えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今の所ないがやりたいと考えている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があればなるべくすぐ相談に乗り対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人としてたよりを発行している。行事予定等は都度発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者の気持ちになっていつも対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			法人として毎年12月にお祭りをし、地域住民を招待している。(感染症対策として去年は開催見送り)
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			NPO法人ホリデーの施設として共通のマニュアルで対応している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			施設全体の訓練を行っている。今後、事業ごとの訓練も実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を受けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむおえない場合は保護者と話し合いの上、理解を求める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメントでアレルギーのある子については、医師の指示書に対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人として作成してあり共有している。